



いよいよ来週は、『第2回基礎学力テスト』。月末には、『2学期末テスト』も控えています。この2つのテストは、それぞれに重要な意味合いがあり、進路決定に多大な影響を与えるものとなります。今月は、受検の行方を占う最も大きな局面であると思います。まさに受検における「天王山」です。

今こそ、自分の夢に向かって、持てる力を全て出すべき時です。今、がんばらなくては、次はありませんよ。

来週水曜日は、—— **第2回基礎学力テスト (=観戦の重要資料)** 11/12(水)

ついに『第2回基礎学力テスト』が来週の水曜日に迫ってきました。このテストの結果によって進路先をほぼ決定し、1月9日(金)実施予定の『第3回基礎学力テスト』の結果によって進路先を確定させることとなります。つまり、このテストの結果が進路決定に用いる資料の中で最も重要なテストだということになります。みなさんに与えられた時間は、残すところ後わずか1週間です。急げたりさぼったりする人はいないと思いますが、少しの油断が思わぬ結果を招くことも考えられます。将来のことを考えると1分1秒たりとも無駄にできない1週間です。自らの立場をしっかりと自覚し、行動に移した者のみが夢を現実に変えることができます。さあ！自らの手で夢を掴み取りましょう！！

今月末は、—— **2学期末テスト (=高校受検の一部)** 11/25(火)・26(水)・27(木)

今月末には、2学期末テストが始まります。1学期末テスト前に発行した「学年だよりNo.24」でも書きましたが、期末テストは、学期末の観点別評価(A・B・C)や、学年末の評定(5・4・3・2・1)を大きく左右する重要なテストです。つまり、受検校に提出する調査書の「各教科の学習の記録」の評定を大きく左右するテストなのです。(今回の2学期末テストは、調査書に最も影響を与えるものとなります。)特に、音楽・美術・保健体育・技術家庭の4教科は、中間テストがない分、観点別評価や評定をつける上で、期末テストのウエイトは高くなります。さらに、調査書では、この4教科の評定は、受検科目の5教科の2倍の扱いになりますから、4教科は特に頑張っておかなくてはなりません！

残された時間はわずかですが、実力テストや基礎学力テストに比べ、出題範囲が限定される分、テスト勉強は、やりやすいと思います。全力でテスト勉強に取り組みましょう。

問われているのは**どう生きるか**ということ。

中学校卒業後の進路先は、中学校からの出口ですが、長い人生にとっては、ほんの入口です。先日の進路説明会でもお話ししましたが、中学校卒業後の進路先は、最終目標ではなく、その次のステップへの通過点として考える必要があります。将来のなりたい自分(どんな職業に就き、どのように活躍したいか。どんな家庭を持ち、どう幸せを追求したいか。どんな大人になり、社会とどう関わりたいか。等)に近づけるための力を身につける場所として、自分に最も適しているのはどこか。という視点で選ぶ必要があると思います。

将来の夢や希望を抱けず、自分の進むべき道を見つけることを先延ばしにするために、とりあえず高校の普通科に進んでおこうかと考えている人も多いと思います。しかし、普通科に進んだとしても高校2年生への進級時には、理系か文系かの選択があり、3年生になればその先の進路を決定しなければなりません。高校卒業後の進路先に普通科のような一般教育だけを行う場所はなく、必ず専門的な分野を選択しなくてはなりません。中学校卒業後、いずれの進路を選ぶにしても、今から将来のなりたい自分像を描いておく必要があると思います。

11/12(水)には、第3回進路希望調査票(11/17締切)を配布します。この調査票には、中学校卒業後の進路希望先を記入してもらいますが、必ず、その先の自分の生き方を踏まえて記入してください。もし、進路に関して悩んだり、迷ったりした時は、どんな些細なことでも構いませんから、気軽に学級担任に相談してください。

